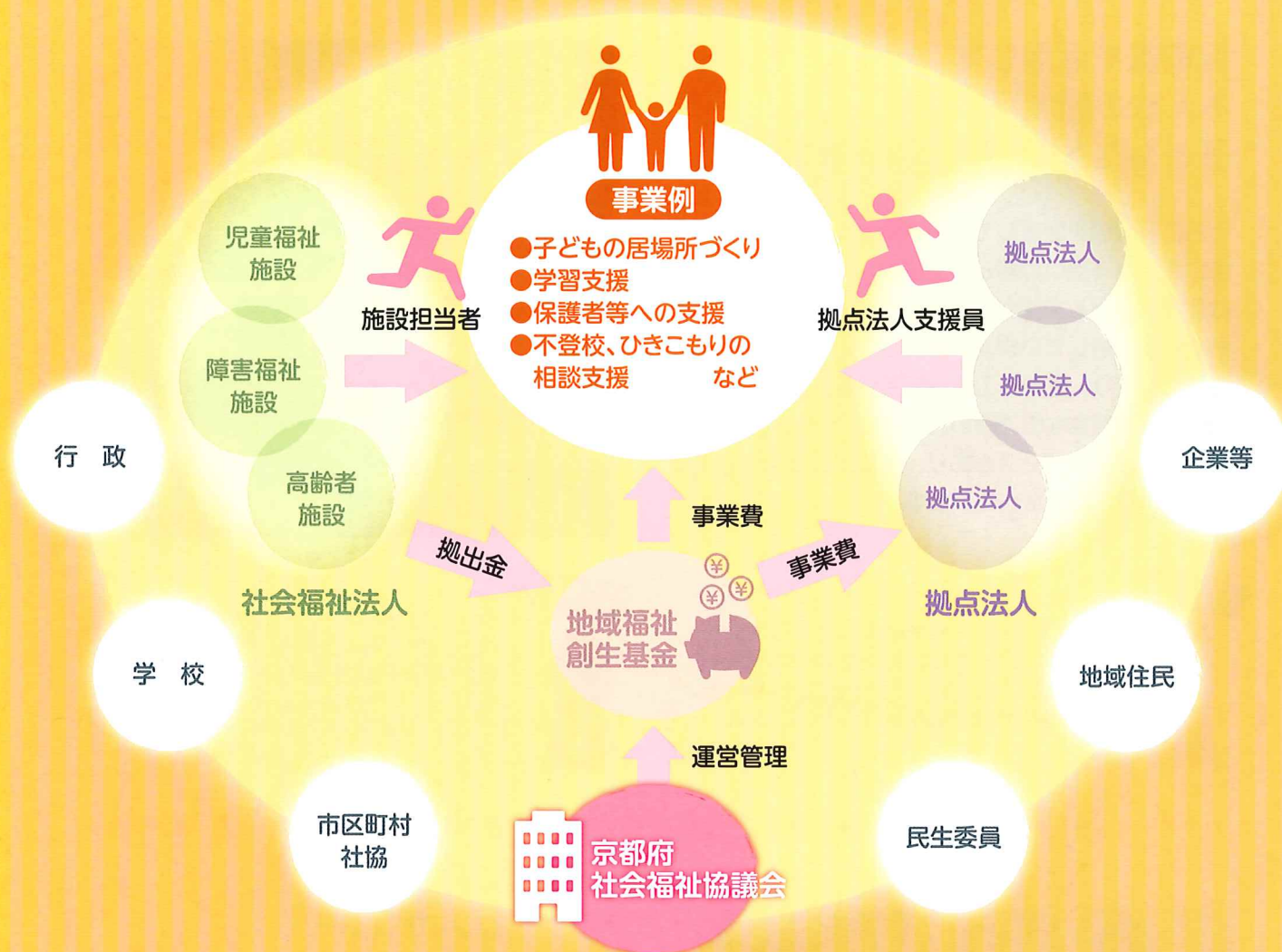


わっかプロジェクト全体のイメージ図



わっかプロジェクト参画について

わっかプロジェクトでは、地域のために共に活動して下さる法人を募集しています。
活動の仕方は法人ごとに様々です。その地域にとって何が必要なのか、
そして私たちには何が出来なのか、是非一緒に考えていきませんか？

申し込み・
問い合わせ先

社会福祉法人 京都府社会福祉協議会
☎ 075-252-6292 FAX.075-252-6310

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375 ハートピア京都5F

わっかプロジェクト

京都地域福祉創生事業

社会福祉法人が「わっか」になって
あたたかい地域社会の「わっか」を広げる
それが「わっかプロジェクト」

実施
主体 | 社会福祉法人
京都府社会福祉協議会

協働・
協力団体 | 京都府社会福祉法人経営者協議会
京都府市町村社会福祉協議会連合会／各社会福祉施設種別協議会

わっかプロジェクト

現在、日本では既存の社会福祉制度だけでは対応が難しい福祉課題を抱える人が増えてきており、生活困窮者支援が国を挙げての課題となっています。

一方で、社会福祉法人は制度の枠にとどまらず、地域福祉の推進や制度の狭間の課題に取り組むことが使命です。

わっかプロジェクトでは、これらの現状と社会福祉法人の役割を踏まえ、複数の社会福祉法人が協働し、それぞれの地域のニーズに対応した支援、経済的課題や社会的孤立に対する支援を展開していくことで、つながりのある豊かな地域社会づくりを目指します。

※改正社会福祉法では、地域における公益的な取組みが社会福祉法人に求められています。

社会福祉法人の力を合わせる

その地域で活動をしている社会福祉法人だからこそ分かる、
地域の課題があります。

一つ一つの法人でできることは限られていますが、
みんなで輪になってつながり、
力を合わせればできることはグッと広がります。

また、他の取組みへのスタッフ派遣や食材・スペースの提供のご協力、
あるいは複数の法人で一つの取組みを行うこともできます。

既存の制度では対応しづらい困りごとを抱える方々の
支援の方法を共に考え、作っていきましょう。

孤立防止

- 交通の便の確保支援
- 高齢者の見守り支援

就労に向けた支援

- 活動の場の提供
- 軽作業の創出

子どもの居場所づくり

- 子ども食堂の開催
- 学習支援
- 工作体験

経済的課題への対応

- 食事の提供など

各地で行われている取組み

保育園を活用して みんなの居場所づくり！ 子どもたちの元気な声が響きます。

土日に保育園を開放して、子どもからお年寄りまで自由に集まれる憩いの場として提供しています。ここでは保育園の強みを生かし、たくさんの“遊び”を子どもたちに用意しています。外で走り回ったり、泥んこ遊びをしたり、室内で工作や陶芸体験、読書など。室内の遊具も豊富なので雨の日も安心。また、大人がゆっくり過ごせるスペースもあり、地域にとって欠かせない場所のひとつになっています。



利用者の声



「ママ友が増えて一人で悩むことが少なくなった」
「一人っ子なのでいろんな年齢の子と遊べるのが嬉しい」
「休日の過ごし方が変わり、外に出ることが増えた」
「年齢制限のない遊び場所があることはとてもうれしい」

支援者の声



子どもたちが楽しむことはもちろん、親御さんにもホッと一息つけるような場所です。地域にお住みの方々の特技や活動を発揮できる場としても使っていただきたいです。イベントも盛りだくさんなのでぜひ多くの方に来てもらえれば、と思っています。



デイサービスセンターを活用して 子ども食堂を開催。 みんなで一緒に“いただきます！”

毎月1回、土曜日の夜に子ども食堂を開催し、子どもから大人まで集まって、一緒にご飯を食べています。メニューは毎回施設の調理師さんが工夫をこらしてくれます。集まる子どもたちは食事まではゲームや工作をして遊んだり、宿題などをしています。元教員など教育関係者や児童委員、ボランティアの方々とも協力し、子どもたちが楽しく過ごせるよう、いつも温かく見守っています。

利用者の声



「ご飯がとてもおいしかった」
「勉強を教えてください、ありがとうございました」
「ずっと続いてほしい」
「子どもたちはいつも楽しみにしています」

支援者の声



一見、元気で大丈夫そうに見える子どもも実は色々抱えているものがあるかもしれません。ここでこういう取組みをしていることで、様々な事情により、見守りが必要な子どもをこの場所につなげることが出来ます。この取組みはその為の大切な第一歩だと思っています。